

糖尿病治療の 新機軸

日時

2019年11月30日(土) 11:50~12:50

会場

第1会場 (高知市文化プラザかるぽーと 1階 大ホール)
〒781-9529 高知県高知市九反田2-1

座長

順天堂大学大学院 医学研究科 代謝内分泌内科学 教授
綿田 裕孝 先生

食後血糖上昇とグルカゴン分泌

関西電力病院 糖尿病・代謝・内分泌センター 医長

演者

桑田 仁司 先生

グルカゴン抵抗性と代謝

名古屋大学環境医学研究所 生態適応・防御研究部門 内分泌代謝分野 教授

演者

林 良敬 先生

共催

第29回日本内分泌学会臨床内分泌代謝Update
株式会社エスアールエル
株式会社コスミックコーポレーション

糖尿病治療の新機軸

グルカゴン産生腫瘍の症例では、低アミノ酸血症が糖尿病よりも高頻度でみとめられる。これは、グルカゴンの生理作用としてアミノ酸代謝制御が重要であることの臨床的証拠と言えよう。最近、海外よりインスリン抵抗性の上昇に伴い、血中グルカゴンと血中アミノ酸がともに上昇することが報告された。この結果は肝臓がインスリン・グルカゴンの両者に対して抵抗性を示していることを示唆する。もし血中グルカゴン値の上昇がグルカゴン抵抗性に対する生理的な応答であるとすれば、グルカゴン抑制は治療手段として適切ではないかもしれない。もちろん結論を出すことは時期尚早であり、また日本人におけるデータも少ないため、今後もグルカゴンおよびアミノ酸に関する臨床データが集積されることが望ましい。

■ 桑田 仁司 先生 プロフィール

2003年 東京大学大学院総合文化研究科広域化学専攻 博士課程中退
2007年 神戸大学医学部医学科卒業
2013年 関西電力病院 糖尿病代謝内分泌センター 医員
2015年 関西電力医学研究所 先端糖尿病学研究所 部長
2018年 関西電力病院 糖尿病代謝内分泌センター 医長
2018年 関西電力病院 疾患栄養治療センター センター長

■ 林 良敬 先生 プロフィール

1987年 名古屋大学医学部卒
1987-1989年 名古屋第二赤十字病院研修医
1989-1995年 名古屋大学大学院医学研究科
(うち1991-1995年 シカゴ大学医学部Research Associate、94年よりAssistant Professor)
1995年 名古屋大学大学院医学研究科修了
1995-1998年 日本学術振興会特別研究員
1998-2000年 名古屋大学環境医学研究所研究員
2000-2005年 科学技術振興機構創造科学推進事業 (ERATO)
関口細胞外環境プロジェクト 研究員 (グループリーダー)
2005年-2007年 名古屋大学環境医学研究所 分子細胞・適応部門 発生遺伝分野 助教授
2007年-2019年 名古屋大学環境医学研究所 生体適応・防御研究部門 発生遺伝分野 准教授
2019年4月より 名古屋大学環境医学研究所 生体適応・防御研究部門 内分泌代謝分野 教授

■ 本ランチョンセミナーは整理券制となります。

配布日時 11月30日(土) 8:00~セミナー開始時間まで

配布場所 第1会場前(かるぽーと 1F 大ホール前)

※会場には整理券をお持ちの方から優先的にご入場いただけます。
※整理券はセミナー開始5分後に無効となり、その後は先着順に入場していただきます。予めご了承ください。